

最近の雇用失業情勢（令和7年 4月の内容）

1 県内概況 「有効求人倍率は1.34倍（季調値）」（前月より0.01ポイント低下）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月より0.01ポイント低下**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が微減しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向 新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業等で増。製造業等で減。

[新規求人数]

当月：4,738人 宿泊業・飲食サービス業の増員等により+204人
（前年同月 4.5%増）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
【宿泊業・飲食サービス業】当月：417人 前年同月：+68人
【卸売業・小売業】当月：665人 前年同月：+100人
【運輸業・郵便業】当月：287人 前年同月：+43人
【サービス業】当月：603人 前年同月：+68人
【医療・福祉】当月：957人 前年同月：+56人
- 「減」（対前年同月比）
【製造業】当月：452人 前年同月：-125人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.16倍 前年同月：+0.14P
【米子所】当月：1.29倍 前年同月：-0.07P
【倉吉所】当月：1.34倍 前年同月：+0.11P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.08倍（6か月連続で前年同月を上回る）
→全国指標0.99倍（7か月連続で前年同月を上回る）

[新規求職者数]

当月：2,977人 （前年同月2.0%増）